



令和4年5月10日（火）発行

学校だより No.3

沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》

- 向学 ……自ら学ぶ生徒
- 礼節 ……思いやりのある生徒
- 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を育てる教育活動の推進～」

「努力」について考える（学校集会の校長講話より）

「努力は裏切らない」は、本当でしょうか？自分なりに一生懸命努力したのに、思った通りの結果が出なかった、ということも実際にはあることです。

では、「努力は裏切らない」は嘘なののでしょうか？ここで考えなければならないのが、「結果」だけに目がいてないかということです。大切なのは「**努力の過程によって身につく力がある**」ということです。努力をすることで、目標に向かって粘り強く取り組む「**継続力**」が身につきます。また、大変な場面でもそれに耐える「**忍耐力**」が身につきます。そして、自分が苦勞したことによって人の苦勞が理解でき、思いやりの気持ちが育ちます。このように、「**努力**」を通して人間として大切な力がいくつも身につくのです。

つまり、「努力は裏切らない」ということです。思った通りの結果が出なくても、努力の過程でいくつもの力が身につく人として成長することができるのです。そして、いくつもの力を身につけて成長することで、着実に目標とする結果に近付いているのです。

各部が市春季大会で健闘、そして吹奏楽部が柳波まつりで見事な演奏！！

市春季大会が各会場で行われ、各部とも最後まで粘り強い試合をすることができました。また、吹奏楽部が柳波まつりで観客を魅了する見事な演奏を披露しました。

＜市春季大会の結果＞ 敬称略 ☆は県大会出場

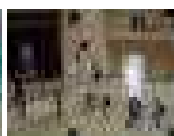
テニス男子団体	1回戦惜敗
個人	準優勝：佐々木・伊與久ペア☆
テニス女子団体	1回戦惜敗
個人	入賞なし
バレー	優勝☆
バスケ男子	4位
バスケ女子	3位
卓球男子団体	準優勝☆
個人（3年以下）	3位：富澤☆、3位：島村☆
（2年の部）	5位：高野☆
	3位：田中
卓球女子団体	3位☆
個人（3年以下）	入賞なし
（2年の部）	準優勝：見城
柔道男子個人	準優勝：生形
柔道女子個人	3位：佐藤
サッカー	3位
野球	3位
剣道男子団体	予選リーグ惜敗
男子個人	入賞なし
剣道女子団体	準優勝☆
女子個人	入賞なし



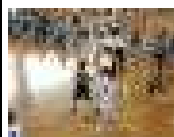
【テニス男】



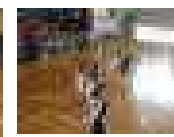
【テニス女】



【バレー】



【バスケ男】



【バスケ女】



【サッカー】



【卓球男】



【卓球女】



【野 球】



【柔道男】



【柔道女】



【剣道男】

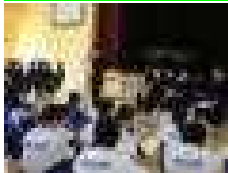


【剣道女】

＜柳波まつりでの吹奏楽部の見事な演奏＞



「全員で一つの西中」を目指して（生徒総会より）



今年度最初の生徒総会が、4月18日（月）に行われました。年度始めの忙しい中でしたが、目標づくりや当日の資料づくりなど生徒主体で準備が進められ総会を実施することができました。

総会の中では、各代表がワンポイントアップを目指す目標や取組内容を発表しました。そして、予算案等を含む全議案が承認されました。今後は、承認された目標等の達成に向け「実行」あるのみです。また、実行しながら課題を見つけ、その解決に取り組むことで「全員で一つの西中」を実現させてほしいと思います。

保護者の皆様からいただいた大切な生徒会費を、生徒会活動充実のため有意義に使わせていただきます。

生徒会スローガン… 『 輪 』

具体目標

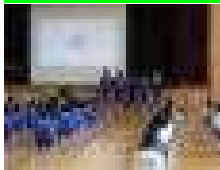
～ We are the one ～

みんなで「輪」になって手をつないだとき、一人でも欠けたら「輪」でなくなってしまう。つまり、西中の誰も欠けてはいけないという意味です。これから、このスローガンのもと「全員で一つの西中」を目指し、一丸となって頑張っていきましょう。

いじめ防止活動の取組

沼田西中学校という輪を壊さないように、明るい雰囲気をつくる。

「西中プライド タブレットルール」(生徒集会より)



昨年度の臨時生徒総会で話し合って策定した「西中プライド タブレットルール」について、生徒会に1年生が新しく加わったこともあり、アンケート結果を基にして改めてルールの確認がされました。特に「西中わかいき運動」を実践することで正しいタブレットの使い方を推進していくことが確認されました。

そして、一つ考えてほしいことがあります。それは、なぜ「プライド」という言葉が使われているのか、ということです。それは、このルールを「生徒会の決まりだから」という理由だけで守るのではなく、お互いが気持ちよくタブレットが使えるようにお互いを思いやるという西中生としてのプライドが基になっているということです。

授業公開・PTA総会では大変お世話になりました

4月28日（木）の授業公開及びPTA総会では大変お世話になりました。平日のお忙しい中にもかかわらず大勢の保護者の皆様に授業を参観していただきましてありがとうございました。

新学期がスタートして約3週間が経ちましたが、お子さんの様子はいかがだったでしょうか。私もいくつかの授業を参観しましたが、どの授業でも一人一人が落ち着いて学習に取り組み、新学期のスタートが上手く切れたなと感じました。

今後も、様々な行事や諸活動が予定されていますが、一つ一つの取組を通して生徒の成長を図ってまいりたいと思いますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



《コラム～校長室より・校長の独り言～》

いつものように朝の挨拶を玄関先でしている時のことでした。ある生徒が校門前で立ち止まると、横から来た車が止まってくれたので、その生徒は小走りに道を横切り、渡り終わると振り返ってお辞儀をしてお礼の気持ちを表していました。

昨年と同じような光景を紹介しましたが、良い伝統が引き継がれていて、とても嬉しくなりました。



